

熊谷知事が匝瑳市を視察

初夏の時期になると、ツバメが空を飛び交う光景を目にすることも多いですね。昔から、ツバメが家に巣を作るのは縁起が良いと言われていて、毎年ツバメが家に来るのを楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか？土台となる壁と巣の材料の相性が悪く、巣作りがスムーズに進まなかったり、それでも器用に泥と草などを混ぜ、せっせと巣を作るそんなツバメの姿も愛らしいものです。ひなが大きく口を開けて餌をねだる姿などしばらく市内の軒先がにぎやかになりそうです。

さて、先月には匝瑳市を会場として、「第67回東部五市スポーツ大会」が開催され、全21種目で熱戦が繰り広げられました。この大会は匝瑳・旭・銚子・成田・香取の東部五市の市民の体育振興による体力の向上を図り、勤労意欲の推進と各市相互の親睦を図ることを目的として実施されており、今年で67回目を迎えた伝統ある大会であります。試合会場に足を運び、選手の皆さんの日頃から鍛えた練習の成果を拝見しましたが、それぞれが真剣勝負に臨む姿に、声援を送る人たちも引き込まれ、会場全体が熱を帯び、この臨場感がスポーツの持つ魅力の一つだと改めて感じました。大会の結果は、4つの種目で優勝、5つで準優勝を果たし、匝瑳市が総合でも準優勝を勝ち取ることができました。選手の皆さん、そして大会関係者の皆さんに感謝いたします。私もスポーツはめっきり観戦が主

となつていますが、少し体を動かしたいと感じた今日この頃です。



5月19日には、熊谷知事による現地視察および意見交換が海匝地域で実施され、最初の視察先として匝瑳市へ訪れていただきました。知事には、昨年開通した匝瑳インターチェンジ周辺の産業用地整備に向けた、地権者などとの合意形成、関係機関との協議、企業誘致活動などの進捗状況の説明を行うとともに、予定地を視察いただきました。その後の3市合同意見交換の場では「産業用地整備に対する継続的な支援」「国保匝瑳市民病院建て替え整備に対する支援」をテーマに意見交換を行い、その他に家畜伝染病対策やさまざまな課題についても、意見を伝えることができ、今後につながる有意義な時間となりました。現場主義を推し進める知事の姿勢に感銘を受け、私も市内外の各種団体の総会などで意見交換をさせていただき、同じように現場の声をしっかりと聞き、課題を把握したうえで今後の政策判断に生かしてまいります。

それでは、まだ暑さに体が慣れないこの時期、熱中症にご注意いただき、梅雨のはじまりですが、気持ちは晴れやかに過ごしてまいりましょう。

匝瑳市長 宮内康幸

No.229

匝瑳探訪 獅子頭の宮殿

栢田を歩く

旧野栄町域には東郷神楽や八雲神社祭礼囃子など市指定無形民俗文化財の伝統行事があり、中でも県指定無形民俗文化財の栢田地区「仁組獅子舞」は広く知られています。

今年は1月5日に行われ（「獅子は各家で華麗な舞を披露。訪問を受けた家の人たちは、獅子に自分の体をかんでもらい、健康を祈願しました。」・「広報そうさ」令和7年3月号5ページ）この時使用された獅子頭をかつて収めていたという宮殿（厨子）を拝見することができました。



獅子頭を収めていた宮殿

高さ約97センチほどの宮殿は流造で、和紙を張ったと伝わる屋根部分の傷みが激しいものの飾りなどの細工に漆や金が使われ、手の込んだ印象を受けました。この獅子舞が始められたとされる天明年間（1781～1789年）に獅子頭とともに作られたのでしょうか。全国的な大飢饉に見舞われた際、獅子舞は上総国作田村（現・九十九里町）から木戸村（現・横芝光町）を経て、栢田村に伝承したと言われています。興味深かったのは、かつて獅子頭を収めた宮殿を荷車に乗せ、各家々を回ったという言い伝えが残っていることです。年の初めに所願成就の強い信仰を寄せて獅子舞を迎え、荷車が家に着いたら宮殿から獅子頭を取り出し、舞ったのでしょうか。

令和5年10月には、千葉県で11年ぶりに開催された「第65回関東ブロック民俗芸能大会」に県を代表する形で公演しました。時代が移り変わる中で、市内でも伝承継続が困難となり、取りやめになった伝統行事もあると聞きます。

仁組獅子舞保存会が今回、獅子頭の宮殿を公開してくれたことで、さらに関心が高まることを期待したいものです。（市文化財審議会委員・依知川雅一）

関秘書課広報聴班

☎73・0080

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課 広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場 八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

短歌

依知川 雅一 推薦

静かなる水面揺すらし降る雨は

早苗をつつむやわらかき雨

娘の墓の花立ての水凍らずに

本当の春が来たねと語る

ひらひらと桜散りゆき公園の

小さな旋風渦潮のごと

妻の逝き十三回忌迎えしも

楽しき思いで数かぎりなく

カエル鳴きうぐいすも鳴く畦道は

代掻きされてくろぬりされて

鮮やかに咲きて静もる米桜

ガラス戸越しに癒し届けり

いま一度訪ねてみたき尼寺よ

静かに暮るる斑鳩の里

石田 健治 推薦

陽だまりに二匹の子猫よりそいて

風寒いのか毛並ふるわし

公園のオオムラサキは満開に

あさかけ 朝光さして鮮やかさ増す

大木 洋一

内藤喜代美

古谷由美子

伊橋 勝利

小川 一夫

木下 昌子

宇野とし子

伊橋 裕子

伊橋 良子

俳句

椿 和枝 推薦

蒼天に光をかへし柿若葉

餌箱の鳩と目の合ふ日永かな

夫の忌やさらさら積る名残り雪

水張りて風撫でてゆく植田かな

菖蒲湯をたてて女の家族かな

高遠の桜満開人の群れ

春帽子リボン揺らしてポストまで

鶯のケキヨに引かれ散歩する

子蛙のサツシレールに干からびて

川柳

勝又 康之 推薦

新茶飲む八十八夜共白髪

初夏の風皆なそろって浴衣持つ

温暖化暦の初夏も戸惑うね

朝ドラと新茶の香り会話なし

あやめ咲く初夏の息吹がすぐそこに

鮮やかな新緑芽生え坪の庭

初夏の朝空気美味しい野良仕事

石田 健治 推薦

コロナあけ歌や踊りに華が咲く

心より財布の豊かさ求めたい

光瀬甲江子

椎名 晴江

岩井 やす

那須 恒雄

山崎智恵子

佐々木之子

鈴木 志子

須貝 玉枝

伊藤伊之助

江波戸京子

土屋 秀雄

林 長三郎

鶴野千恵子

鈴木トシ子

鶴澤 澄子

安藤 幸恵

野仲てつ幹

熱田真こと

地域おこし協力隊通信

第3回



＼今月の担当は安藤真紀子隊員／1967年生まれ。東京都出身。大学卒業後金融機関に勤務。仕事と育児の両立のため、未経験の会計を勉強し公認会計士の資格を取得して転職。20年間、監査法人等で監査業務に従事。昨夏、退職し、今年から地域おこし協力隊員として着任。現在、農業研修中。

匝瑳の第一印象

今年4月に、10年間心に温めてきた就農に向けて、移住してきました。

車に引越しの荷物を積んで来た時の匝瑳市の第一印象は、「すごい、一面感！」でした。空はとても大きくて、大地は平らでどこまでも見渡すことができます。そして、その大地は、田んぼや畑に見事に生かされていて、その中に家があり人々の営みが融合しています。どれだけの年数の先人達の知恵と努力があったことか。車を運転しな

がら心がとても高揚したことを覚えてます。私の入居したアパートのすぐ裏にも水路が流れていて、その水音に包まれながら、私もその中で暮らしているという喜びを感じています。

農業の右も左もわからない未経験者のため、6月までの予定で、農業大学校に通いながら、週末を利用して農業関係の活動に参加しています。研修を修了して、本格的に匝瑳の地で農業に携われる日が今からとても楽しみです。



週末に参加した田植えの様子